

## 2016年度 第2回常任理事会：議事録

日時：2016年8月7日(日) 14時00分～17時30分

場所：日本体育大学5階 中会議室

出席者：藤田主一理事長、谷口泰富副理事長  
伊坂裕子、田中真介、外島 裕、深澤伸幸、古屋 健(五十音順)

山本勝則(第83回大会委員長)

軽部幸浩(広報委員会副委員長)

事務局：宇部弘子(事務局長)、福場久美子(幹事)  
(敬称略)

### I 報告事項

#### 1. 理事長挨拶(藤田主一理事長)

- ・常任理事会の出席者へ感謝の言葉が述べられた。

#### 2. 議事録確認(藤田主一理事長)

- ・前回の常任理事会議事録を確認し、加筆修正等があれば事務局長へ申し出る。事務局で再度見直したうえで、『応用心理学研究』へ掲載となる。

#### 3. 各委員会報告

##### 1) 機関誌編集委員会(深澤伸幸委員長)

- ・『応用心理学研究』第41巻第3号を6月末に発行した。
- ・『応用心理学研究』第42巻第1号の刊行は8月末の予定である。
- ・『応用心理学研究』第42巻第2号では、東京未来大学にて開催された「公開シンポジウム」を誌上公開する予定である。
- ・現在審査中の論文は16本で、査読作業は迅速かつ順調に進んでいる。

##### 2) 企画委員会(代読：宇部弘子事務局長)

- ・特になし

##### 3) 広報委員会(田中真介委員長)

- ・次号の『応用心理学のクロスロード』の特集として「震災と子ども」「子どもと高齢者」「幸せってなに」のいずれかを検討中である。
- ・日本応用心理学会第83回大会の期間中に、取材を予定している。

##### 4) 「応用心理士」認定審査委員会(外島裕委員長)

- ・平成28年度前期は2名の審査が終了した。

- ・委員の2/3以上の承認で成立となるとの確認があった。

- ・「応用心理士」認定条件として、当該年度の学会費が納められている必要がある旨の確認があった。

##### 5) 国際交流委員会(代読：宇部弘子事務局長)

- ・2014年の国際応用心理学会発表論文に基づく『応用心理学研究英文特集号』の審査が終了した。『英文特集号』の発行は8月下旬を予定している。

- ・2018年6月26日～30日にかけてカナダ・モントリオールにて、第29回国際応用心理学会が開催される予定である。

- ・第31回国際心理学会において、日本交通心理学会と共催で「シンポジウム」を実施した。

##### 6) 学会賞選考委員会(優秀大会発表賞を含む)(伊坂裕子委員長)

- ・「優秀大会発表賞」の投票率を上げるため、投票箱の設置を受付だけでなく、総会会場にも設置してほしい。また、投票用紙とチラシの配布は受付ではなく、ポスター発表会場で配布することを大会にお願いできないかという申し出があった。

- ・チラシを大きくし、ポスターとして貼る提案があった。

##### 7) 学会活性・研究支援委員会(古屋健委員長)

- ・審議事項で説明する。

##### 8) 倫理委員会(谷口泰富委員長)

- ・ヒトを対象とした実験に関する投稿論文では、倫理規程が守られているかを注意し、チェックする必要性が述べられた。

##### 9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会(谷口泰富委員長)

- ・現在2冊の本が推薦されており、詳細は審議事項で説明する。

##### 10) 特別委員会(藤田主一理事長)

- ・現在、名誉会員の山岡 淳先生のインタビューが終了、高嶋正士先生、長塚康弘先生にインタビューする予定である。

- ・特別委員会の名称として、「学会史編纂委員

会」にしたいとの提案があった。

4. 日本心理学諸学会連合について（谷口泰富副理事長）
  - ・「公認心理師」施行スケジュールに関して説明があった。
  - ・昨年度に「一般社団法人」になり、法人化記念シンポジウムが9月19日(月)に、東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホールにて14時～17時に開催される。シンポジウム内容は2部にわたっており、「第1部：一般社団法人日本心理学諸学会連合の法人化と今後」「第2部：公認心理師法の施行に向けて」となっている。
  - ・2つの学会が日本心理学諸学会連合に加盟する。
5. 心理学検定について（代読：藤田主一理事長）
  - ・第9回心理学検定試験は8月21日(日)に行われる。受験申込者はおよそ4,500名である。
  - ・自然災害等の発生による予備日は9月11日(日)である。
6. 2016年第83回大会について（山本勝則大会委員長）
  - ・「プログラム」は発行済である。
  - ・「論文集」は内容が確定し、現在印刷中である。
  - ・発表原稿の倫理的問題を全ての原稿に関してチェックし、現在3本の原稿に対し修正を依頼している。
7. 2017年第84回大会について（古屋 健大会委員長）
  - ・大会8月下旬に予定しているが、大学の工事や行事等があり、現在日程を調整中である。
8. 大会発表論文集の公開について（藤田主一理事長）
  - ・「大会発表論文集」に掲載されている発表論文を、大会終了後も大会ホームページで公開し続けることについては、学会として承認していない旨の確認があった。
9. 国際文献との業務契約について（宇部弘子事務局長）
  - ・2016年度の契約を現在検討中である。
10. その他（藤田主一理事長）
  - ・特になし。

## II 審議事項

1. 決算の件（宇部弘子事務局長）
  - ・2015年度決算（案）の説明があった。
  - ・国際文献社に対し、事務局委託費の決算額を確認する。
2. 予算の件（宇部弘子事務局長）
  - ・2016年度予算（案）の説明があった。
3. 学会賞選考の件（伊坂裕子委員長）
  - ・学会賞選考委員会による審議が行われ2論文が推薦され、常任理事会の審議の結果、下記2論文が「学会賞（論文賞，奨励賞）」として承認された。
  - ・総説論文は、「論文賞」「奨励賞」のどちらの位置づけになるかが問題提起された。

【論文賞】

掲載誌：『応用心理学研究』Vol. 41 No. 1

論文名：化粧が対人印象に及ぼす影響  
—顔形態とメイクの差異による印象操作の実証的研究—

著者：九島紀子・齊藤 勇

【奨励賞】

掲載誌：『応用心理学研究』Vol. 41 No. 1

論文名：大学生における街中での異性関係開始  
—男女間の相互作用に着目して—

著者：仲嶺 真
4. 優秀大会発表賞の推薦方法の件（伊坂裕子委員長）
  - ・優秀大会発表賞「投票用紙」の改定案が提示され、審議の結果、承認された。
5. 齊藤勇記念出版賞選考の件（谷口泰富委員長）
  - ・常任理事会の審議の結果、下記の著書が決定した。

書名：『香りや見た目脳を勘違いさせる毎日が楽しくなる応用心理学』

著者名：坂井信之

発行所：かんき出版
6. 日本応用心理学会若手会員（古屋 健委員長）
  - ・若手会員研究奨励賞（案）について、採択件数は年間3件とし、研究奨励金は1件当たり10万円、研究奨励金の使途は自由で、領収書の提出は不要とする説明があった。
  - ・選考方法、応募資格、応募方法、選考スケジュール、賞状および研究奨励金、受賞者の

- 義務，規程について提案があった。規程案については一部修正となった。
7. 機関誌，大会発表論文集の電子化・公開の件（軽部幸浩広報委員会副委員長）
    - ・J-STAGEの利用について説明があり，理事会・総会において承諾を得る。
  8. 「応用心理士」認定見直しの件（外島裕委員長）
    - ・「専門応用心理士（仮称）」を新設する提案があった。
  9. 新入会員審査および会員異動に関する件（宇部弘子事務局長）
    - ・一般会員5名の申請が承認された。  
高山 藍，幡瀬弘志，染谷瑞枝，竹橋洋毅，大束忠司（敬称略）
    - ・院生会員4名の申請が承認された。  
佐藤 茜，小林美和，劉 双，宮前光宏（敬称略）
    - ・2016年8月4日現在の会員数は1,305名である。
- \*次回の常任理事会は，2016年9月2日（金）12時から，札幌市立大学にて開催する予定である。